

## 第 54 回全国大会（平成 9 年前期）大会優秀賞の表彰

第 54 回全国大会大会優秀賞は、すべての講演発表者を対象に幅広い観点から優秀な論文を発表し講演された方を表彰するもので、来る 9 月 24 日～26 日に福岡工業大学で開催される第 55 回全国大会の会期初日表彰式の席上、会長から下記の 11 君（会員）に授与されます。

本賞は去る 3 月開催の第 54 回全国大会（於：千葉工大）での発表論文を対象に、第 54 回全国大会大会優秀賞・大会奨励賞選定委員会（委員長：増永良文）において表彰規程に基づき、総発表件数 945 件中推薦のあった 45 名の候補者から 24 名を選び、さらに慎重かつ厳正な審議の結果、11 名が受賞候補者として推薦され、第 422 回理事会（平成 9 年 7 月）の承認を得て決定されたものです。なお、受賞論文は本号 829 ページに掲載されております。

### 情報検索のための高速日本語形態素解析システム「すもも」(2 分冊 59P)

鷺坂 光一君

1963 年生。1985 年阪大基礎工学部情報工学科卒業。1987 年同大学院基礎工学研究科情報工学分野博士前期課程修了。同年日本電信電話（株）入社。現在、同社基礎研究所にて、情報検索に関する研究に従事。

### インターネットにおけるトラフィック分析 (3 分冊 557P)

小松原重之君

1992 年阪大工学部卒。日本電信電話（株）入社。1995 年より同社ソフトウェア研究所に勤務。ネットワークサービスプロバイダ運用の研究に参加し、分散システムトラフィック理論へ決定論的非線型モデルの適用を行う。現在は、これらの知見を、次世代ネットワークレイヤのプロトコルに応用すべく研究を進めている。

### ソフトウェア性能評価のためのランダムデータ高速生成法 (1 分冊 267P)

二村 良彦君

1965 年北大理学部数学科卒業。1972 年 Harvard 大応用数学科大学院修士課程修了。工学博士。1965 年日立製作所入社。同社中央研究所主任研究員及び基礎研究所主管研究員を経て、1991 年より早大理工学部情報学科教授。その間、Uppsala 大学計算機科学科 Guest Professor (1985～1986) および Harvard 大計算機科学科 Visiting Scholar (1988～1989)。主要業績：部分評価における Futamura Projections の発見 (1971 年)、プログラム技法 PAD の開発と ISO 化 (1979～1986: ISO8631)、一般部分計算法の発見 (1987 年) と米国特許化 (United States Patent No.5241678, 1993 年 8 月 31 日成立)。

### データフロー解析に基づくプログラム保守支援 (1 分冊 323P)

四野見秀明君

1982 年東北大工学部卒業。1984 年東大大学院工学系研究科修了。同年日本アイ・ピー・エム（株）入社、ジャパン・サイエンス・インスティテュート（現東京基礎研究所）配属。現在、同社アジア・パシフィック・プロダクツ所属。在学中は原子炉診断、操作員ガイドに対する人工知能応用の研究を行う。入社後は、アセンブラ、Prolog のプログラム解析の研究を経て、1990 年からは PL/I と COBOL を対象とした保守支援技術の研究・開発に従事。

### トランザクション処理によるディスクアクセスのトレースを用いた Hot mirroring の性能評価 (3 分冊 275P)

茂木 和彦君

1992 年東大工学部電気工学科卒業。1994 年同大学院工学系研究科情報工学専攻修士課程修了。1997 年同博士課程修了。現在、日本学術振興会特別研究員。2 次記憶装置におけるデータ記憶管理に関連した研究に従事。本会第 47 回全国大会奨励賞受賞。

### モバイルグループウェアシステム「なかよし」の構想 (3 分冊 545P)

倉島 顕尚君

1965 年生。1988 年東大工学部電気工学科卒業。1993 年同大学院工学系研究科電気工学専攻博士課程修了。同年日本電気（株）入社、現在 C&C メディア研究所主任。工学博士。グループウェア、およびモバイルコンピューティングに関する研究に従事。IEEE 会員。e-mail: kura@ccm.cl.nec.co.jp

**商用機械翻訳ユーザ辞書の共通フォーマット設定に向けて (2 分冊 7P)**

亀井真一郎君

1985 年東大大学院理学系研究科修士課程 (物理学専攻) 修了。同年日本電気 (株) 入社。以来、機械翻訳を中心とする自然言語処理システムの研究開発に従事。自然言語の現象のモデル化とそのシステム化に興味を持つ。1996 年言語処理学会年次大会優秀発表賞受賞。現在、NEC C & C メディア研究所音声言語テクノロジーグループ勤務。言語処理学会、人工知能学会、アジア太平洋機械翻訳協会各会員。

**画像データのカプセル化による版權管理手法 (3 分冊 103P)**

木俣 豊君

1965 年生。1990 年神戸大大学院計測工学専攻修士課程修了、同年 (株) 神戸製鋼所入社。主としてデータベース、コンピュータネットワークに関する研究に従事。1996 年 5 月より通信・放送機構神戸リサーチセンターへ出向中。現在、次世代デジタル映像通信の研究開発に従事。

**小型情報機器のための Scroll Display (4 分冊 115P)**

椎尾 一郎君

1965 年生。1979 年名大理学部物理学卒業。1984 年東工大大学院物理情報工学専攻博士課程修了、工学博士。同年、日本アイ・ビー・エム (株) 東京基礎研究所に入社。会議システム、発表システム、携帯コンピュータなどのユーザインタフェースの研究に従事。1997 年より、玉川大学工学部電子工学科助教授。ウィンドウ表示/マウス操作に代わる、新しいコンピュータの利用形態に興味を持っている。

**時系列情報を考慮したアクセスログ解析 (4 分冊 327P)**

畑島 隆君

1970 年生。1993 年名大工学部情報工学科卒業。1995 年同大学院地圏環境工学科博士前期課程修了。同年、日本電信電話 (株) 入社。現在、ソフトウェア研究所勤務。イントラネットサービス構築方式の研究に従事。情報の価値論に興味を持つ。

**拡張有限状態機械とペトリネットを表示編集できる GUI ツールの作成と応用例 (1 分冊 377P)**

岡野 浩三君

1967 年生。1990 年阪大基礎工学部情報工学科卒業。1993 年同大学院基礎工学研究科博士後期課程中退。同年同大情報工学科助手、現在に至る。工学博士。代数的手法によるプログラム開発、分散システムなどの研究に従事。電子情報通信学会会員。